

令和4年度 県立学校による地域との協働推進事業研修会 実施報告

- 《日 時》 令和4年12月6日(火) 13:45~16:30
- 《会 場》 県立教育研究所 中講座室1
- 《参 加》 県立学校による地域との協働推進事業担当者又はコミュニティ・スクール担当者(管理職等を含む) 計 36名
- 《内 容》 13:45~13:50 開会
 13:50~14:50 実践発表「社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組 ~学校外の教育資源の活用~」
 県立奈良北高等学校、県立磯城野高等学校、県立明日香養護学校
 14:50~15:25 説明「令和5年度事業概要の説明(令和4年度事業完了報告についての説明を含む)」
 人権・地域教育課 指導主事
 15:35~16:00 情報交換(グループ協議)
 16:00~16:25 全体交流(発表)
 16:25~16:30 閉会

◆ 実践発表概要

「社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組 ~学校外の教育資源の活用~」と題して、県立学校3校から学校や地域の特色を生かした取組を報告いただいた。

- 県立奈良北高等学校からは、数理情報科1年生の「理数探究基礎」及び2年生の「課題研究」の学習の一環として取り組む「おうちDEサイエンス」について報告があった。この取組は、生徒が授業を通じて、理科の実験や、自ら設定をした自然科学分野の課題に対する探究活動で学んだ知識や技術等を、地域の方々、特に地元の小学生へ発信し、還元することを意識した活動であり、この取組によって、社会に対する生徒たちの視野を広げ、思考力・判断力・表現力はもちろん、学びに向かう力や人間性の涵養につなげていきたいと説明された。
- 県立磯城野高等学校からは、バイオ技術科1~3年生の「食品製造」、「総合実習」、「課題研究」の授業で取り組む「安心安全な食品製造プロジェクト」について報告があった。この取組は、地域農産物を活用して、安心安全な加工食品の開発を目指すことを目標に、県内の企業や事業所等と連携・協働している。令和3年度から、地元の農家や校内の他学科とも協働し、大和野菜「味間いも(里芋)」を用いたポタージュの製品化に取り組んでいる。また、地域の小学生に食と農に関心をもってもらうべく、児童に「味間いも」の栽培指導を行っている。この取組によって、地域から応援の声が届き、生徒たちは地域貢献を意識するとともに、自信をもって学習活動に取り組むようになったと説明された。
- 県立明日香養護学校からは、中学部の総合的な学習の時間の実習授業として、「明日香の地域発見プロジェクト」について報告があった。この取組は、生徒の自立と社会参加を目指した生きる力を育成することを目標に、今年度は、地元のいちご栽培農家を講師として、校内でいちご栽培を行う活動である。授業後も、農家の方が様子を見に来られたり、教員が農家に取材に行き、壁新聞で生徒に報告したりするなど連携・協働を行っている。この活動を通じて、生徒から「いちご狩りに行きたいが、バリアフリーかどうか知りたい」、教員から「農園のような看板を作れば」といった声があり、今後も農家の方と連携・協働内容を発展することが可能だと考えている。地域とつながることで生徒に自信を付けさせたいと説明された。



◆ 情報交換(グループ協議)・全体交流(発表)

「社会に開かれた教育課程の実現に向けた各学校の取組」について情報交換(グループ協議)を行った。主な発表内容は以下のとおり。

- 市の子育て支援事業に協力する形で、家庭クラブの生徒が子どもたちと交流している。授業の一環として保育所等訪問し、子どもとの遊びを中心とした活動を行っている。家庭科の授業でしおりを作成し、近所の図書館に配布している。
- キャリア教育の一環として、地域の商工会と連携し、経営者に講演をお願いしている。
- 「地域を知ろう」というテーマで講師を招いたり、地域について調べたことを地域の方に向けて発表する機会を設けたりしている。
- 校内でのイベントに地域の方を招いたり、地域の祭りなどの運営に参画したりしている。
- 専門学科の特色を生かし、地域の小中学校に出前授業を行っている(検討している)。(プログラミング授業・英語交流など)
- 特別支援学校では、授業の一環として、花の苗植えなど環境整備活動を行っている。

《参加者の感想》

- 学校の特色を生かして地域と上手に連携されていることが分かった。
- 様々な工夫や発想があり、よいヒントを与えていただいた。
- 特別なことをするのではなく、身近なところから素材を見つけてきていることが印象的であった。
- 教育課程に位置付けた活動が生徒や教員にとって負担が少なく、地域の方に学校のことを理解してもらいやすいと思った。
- 学校運営協議会の委員や地域の方への広報が必要であると感じた。

この研修会全体を通して、「県立学校による地域との協働推進事業」の取組を進めるための知識、理解が深まった。

